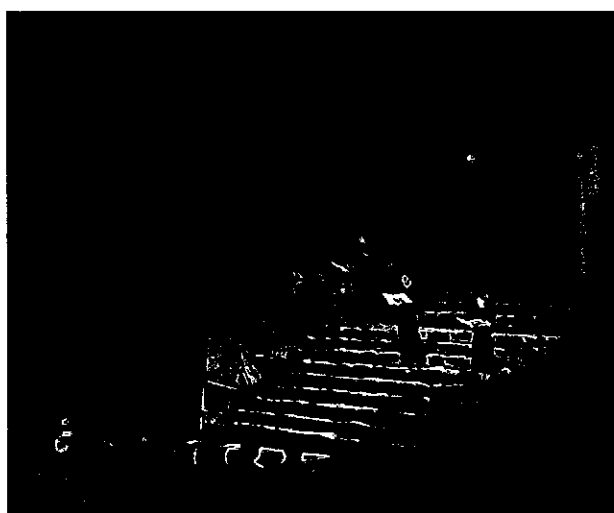


米子市立山陰歴史館

平成 24 年度事業実施報告 平成 25 年度事業計画 (案)



江戸時代の人々の暮らし —その歴史をさぐる—
[中村一忠主従木像]



米府鬼話を語る
[鳥の劇場]

2013・3・27

米子市立山陰歴史館

平成 24 年度 事業報告 (平成 25 年 2 月 28 日現在 ※[]人：3 月 1 日以降実施)

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
鑑賞事業 常設展	昔のくらし展 など	米子の古代から現代までの通史を展示する。 各部屋の展示を巡ることで、当時の生活の様子や産業、など人々の息吹を感じてもらった。	通年	
企画展	河田久寿作 民俗版画と 民具展	弓ヶ浜の民俗を木版画で残した河田久寿作品と館蔵の民具を展示し、昭和初期の人々の暮らしを追体験していただいた。 [692 人]	4 月 14 日(土) ～ 5 月 27 日(日)	
	碧川企救男と かたの生涯をた どる	米子市出身の碧川企救男は、ジャーナリストとして平和を求めて活動し、妻かたは、女性参政権獲得などを求めて活動した。この米子市ゆかりの夫婦の生涯を写真や関連資料などでご覧いただいた。 [308 人]	6 月 9 日(土) ～ 7 月 22 日(日)	協力： (財) 霞城館・ 鳥取県立 博物館
	平和展 - 銃後の人々 の暮らし-	館蔵資料を中心として戦時下の生活に関わる資料をご覧いただくと共に、そこから読みとれる戦争時の人びとの暮らしをとおして平和の大切さを考えていただいた。 [851 人]	8 月 5 日(日) ～ 9 月 2 日(日)	協力： 祐生出会 いの館
	大山を拓いた戦車 香取村開拓と チハ・ドーザー	大山町香取村。戦後すぐ、香取村の開拓にブルドーザー戦車が活躍した様子を、展示や証言によって知っていただいた。 [827 人]	8 月 22 日(水) ～ 9 月 24 日(月)	主催： (株)ガイ ナックス
	江戸時代の 人々のくらし -米子城 その歴史 をさぐる-	米子城築城の歴史を解き明かし、往時の人びとの暮らしを知っていただいた。 [※もっと知りたい！米子城事業] [1, 522 人]	9 月 29 日(土) ～ 11 月 25 日 (日)	主催： 埋文セン ター・文 化ホール

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
鑑賞事業 企画展	第24回 彩りの時間に クリスマスの贈りもの Image グラスクラフト グループ展	米子市美術館の改修工事に伴 い、米子市秋の文化祭参加事業 を歴史館とImageグラスク ラフト教室の共同主催で開催し た。 [1,428人]	12月1日(土) ～ 9日(日)	主催: Image グラス クラフト 教室
	大山寺名宝展	山岳信仰の霊場として、天台宗 の拠点として栄えた大山寺の名 宝と館蔵品を展示し、中世から 江戸時代における大山寺と米 子、その周辺の歴史をご覧いた だいた。 [2,316人]	1月12日(土) ～ 2月24日(日)	協力: 大山寺・ 壺宝閣・ 鳥取県大 山自然歴 史館
	米子錦ライオンズ クラブ助成事業 第39回 郷土の歴史教室 児童作品展	暑い夏、子どもたちが米子のま ちを歩き、学んで作成した成果 、「米子のまちの地図」を、来館 者にご覧いただいた。	12月23日 (日) ～ 25年 3月3日(日)	主催: 米子錦ラ イオンズ クラブ
	平成24年度 素鳳 コレクション展 桃と端午の節句 ～健やかな成長を 願う～	素鳳コレクションの中から、節 句にちなんだ人形飾りを中心に 展示し、子どもの健やかな成長 を願った当時の節句の世界をご 覧いただく。 [人]	3月30日(土) ～ 25年 6月9日(日)	
教育普及 事業	講演会 碧川企救男と かた	碧川かたが影響を受けた夫企救 男の足跡と、婦人参政権獲得に 奔走したかたの生きた時代的背 景を語っていただいた。 [50人]	6月9日(土)	
	講演会 戦国時代の西伯 者における戦乱	米子城成立以前の西伯耆の武将 の動向や歴史を中心に、米子城 の成り立ちを語っていただい た。企画展の付帯事業として実 施した。 [※もっと知りたい!米子城事業] [162人]	10月13日 (土)	主催: 埋文セン ター・文 化ホール

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
教育普及 事業	自然学習講座 米子城植物ふし ぎ発見!	米子城やその周辺の山々に生える植物についてお話を聞いた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [26人]	9月16日(日)	主催: 埋文センター
	講座 米子城発掘物語	米子城跡の発掘の様子をスライドでご覧いただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [34人]	9月30日(日)	主催: 埋文センター
	講座 米子城発掘物語2	米子城や周辺の武家屋敷跡から出土した陶磁器について、学んでいただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [24人]	10月20日 (土)	主催: 埋文センター
	語る会 米子放談 米子城を 語らいや!	米子城や城を作った人々などについて、参加者の想いを語っていただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [56人]	10月20日 (土)	主催: 埋文センター
	平成24年度 米子錦ライオンズ クラブ助成事業 第39回 郷土の歴史教室	暑い夏、子どもたちが米子のまちを歩き、学んだ成果を「米子のまちの地図」として作った。 1. 米子のまち再発見!いっしょに地図をつくろう 2. 民話できくこわい話 [114人]	8月6日(月) 8日8日(水) 8月18日(土)	主催: 米子錦ライオンズ クラブ
	現地観察講座 米子城植物 ふしぎ発見!	米子城山に登り、城山や道端に生える植物について体験学習をしていただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [22人]	9月22日(土)	主催: 埋文センター
	米子巡りウォーク 米子城跡ガイド ツアー	米子城の築城の構造を学習していただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [15人]	5月13日(日)	主催: 埋文センター

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
	講座 米子城跡ガイド ツアー 城下町コース第1回	米子のまちを歩き、江戸時代につくられた町並みや町屋を学習していただいた。 [25人]	6月17日(日)	主催： 埋文センター
	講座 米子城跡ガイド ツアー 城下町コース第2回	米子のまちを歩き、江戸時代につくられた町並みを学習していただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [43人]	9月9日(日)	主催： 埋文センター
	講座 米子城跡ガイド ツアー 城下町コース第3回	米子のまちを歩き、江戸時代につくられた町並みを学習していただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [28人]	11月11日 (日)	主催： 埋文センター
	民話のへや	方言で語られる昔話を楽しんでいただいた。 [92人]	通年	共催： ほうき民話の会
	学校・公民館対応 など 出前講座 館内体験学習 学芸員研修受入	学校での社会科の学習に対応するよう館蔵品の貸出を図った。 米子市内外の小学校3年生や高校・大学生の校外学習を受け入れた。(29校・1,590人) 職場体験受け入れ(4件)	通年	
	米子高専連携事業 神社建築の見かた ・楽しみかた 一伯耆の神社、特に八幡 神社を中心に一	米子高専と連携をとり、楽しみながら学習できる講座を提供した。 [92人]	12月16日 (日)	共催： 米子高専
	事業団施設体験ツアー 夏休みこどもわく わく体験ツアー	事業団の管理・受託施設が連携を取り事業をおこなった。 [23人]	7月27日(金)	主催： 事業団 各施設

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
資料の保存 ・活用事業	調査・整理・研究 ・保管	資料の調査・整理・研究を実施し、成果を発表した。併せて資料の目録作成もおこなった。	通年	
	資料貸出	素鳳コレクションの貸出 学習資料などの貸出	通年	
	県史編纂事業 古文書解読	鳥取県史編さん資料解読の事業の支援をおこなった。 [124人]	通年	共催： 県史編さん室
情報提供 事業	解説会 八幡神社神像について	八幡神社出土の神像の年代や歴史的背景について解説を聞いた。 [20人]	5月14日(月)	
	米子歴史絵巻 —米子城を舞台に鳥の劇場が語る米府鬼話—	米子城跡の史跡活用事業として、鳥の劇場による語りofステージを楽しんでいただいた。 [※もっと知りたい!米子城事業] [170人]	10月8日(月)	主催： 文化ホール/埋文センター
	米子市史など問合せ対応	米子市史等の問い合わせに対応し歴史情報の提供をおこなった。	通年	
	歴史館たよりの発行/ホームページの作成更新	史・資料の紹介やイベント情報の提供などをおこなった。	通年	
	友の会の運営 友の会連携事業 法勝寺電車廃線跡 調査ウォーク	会の運営の手助けを実施 いまはなき法勝寺電車軌道跡を辿り、電車がどんな所をどのように走っていたか。当時の痕跡を辿って調査ウォークを実施 [20人]	通年 25年 3月23日(土)	[総会： 6月16日 14人]
	図書等販売	委託図書などの販売	通年	

平成 25 年度 事業予定 (平成 25 年 3 月 1 日現在)

	事業名	目的・内容 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
鑑賞事業 常設展	昔のくらし展 など	米子の古代から現代までの通史を展示し、各部屋の展示を巡ることで、当時の生活の様子や産業など人々の生活を感じてもらう。	通年 随時展示替	入場料無料 (7,000人)
企画展	素鳳展 端午の節句と 祓の行事 (仮称)	素鳳コレクションの中から端午の節句にちなんだ人形を展示しながら、地域に残る祓の行事を紹介する。	H25 3年30日(土) ～ 6月9日(日)	入場500円 (500人)
	素鳳展 パート2	素鳳コレクションの中から雛人形を中心として展示・紹介する。	H26 3月1日(土) ～ 4月6日(日)	入場料500円 (500人)
	テーマ展1 (仮称)	歴史館が所蔵する歴史・民俗資料など、テーマを決めて紹介する。	6月29日(土) ～ 8月25日(日)	入場料無料 (600人)
	鉄道展 協力:JR西日本等 (予定)	山陰本線全線開通から80年の記録を、資料などから紹介する。	9月14日(土) ～ 11月24日(日)	入場料300円 (1,000人) [付帯事業: 講演会・講座]
	テーマ展2 (仮称)	歴史館が所蔵する歴史・民俗資料など、テーマを決めて紹介する。	12月14日(土) ～ H26 2月16日(日)	入場料無料 (200人)
	米子歴史絵巻 連携:文化ホール	文化ホールと連携して、市内の歴史関係施設を活用した野外事業をおこなう。	10月14日 (月・祝)(予定)	入場料無料 (100人) [歴史館コンサ ート名称変更]
	教育普及事業	講演会	「鉄道展」に合わせ、鉄道や山陰本線の歴史、列車について学ぶ。	10月19日(土)
講座 協力:JR米子駅後藤 総合車輛所他(予定)		「鉄道展」に合わせ、関連施設の見学会を開催する。	展示期間中 10月又11月	保険料100円 (各30人)

	事業名	目的・内容 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
教育普及事業	第40回 郷土の歴史 教室 共催：米子錦ライオンズクラブ(予定)	子どもたちに郷土の歴史を知る機会の提供を図る。 「米子市内外の史跡見学」	夏休み中	参加人数 (50人)
	歴史を学ぶ 協力：妙興寺	日本仏教やお寺の歴史を学びながら、写経などの体験をおこなう。(予定)	検討中	材料代 500円 (30人) [米子巡りウォーク名称変更]
	民話のへや 共催：ほうき民話の会	民話語りなどをおこなう。	通年	
	学校・公民館 対応など 出前講座 館内体験学習 学芸員研修受入	郷土の歴史への知識を深める機会を提供する。 社会科校外学習受入など	申込随時	
	連携事業 共催：米子市教委・鳥取県教委・南部町教委・ 協力：尚徳公民館	法勝寺－米子市内間の法勝寺電車廃線トレッキングをおこなう。(予定)	10月頃 (調整中)	参加料・参加人数検討中
	財団施設 体験ツアー 共催：財団施設	当財団の管理・受託施設が連携を取り事業を実施。	夏休み中	
資料の保存・活用事業	資料の調査・整理・研究・保管	資料の調査・整理・研究を行い、成果を発表する。	通年	
	資料貸出	素鳳コレクションの貸出。学習資料などの貸出。	通年	
	県史編纂事業 古文書解読 共催：県史編さん室	古文書解読の学習の場の提供を通して、資料解読の協力者の育成につなげる。	通年	

	事業名	目的・内容 入場料・入場者数(見込)	実施日時	備考
情報提供事業	問合せ対応	県内外からの問合せに対応し、歴史情報の提供をおこなう。	随時	
	歴史館だよりの発行	歴史館の展示情報などを提供する。	随時	
	ホームページの更新	展示事業の紹介・更新	随時	
	友の会の運営 共催：友の会	会の運営の手助けをおこなう。	随時	
	図書等販売	委託図書などの販売	通年	

平成 24 年度 素鳳コレクション展



永徳齋製 豊太閤 (部分)

桃^{もも}
と
端午^{たんご}
の
節句^{せつく}

— 健やかな成長を願う —

会 期： 3 月 3 0 日 (土) ~ 6 月 9 日 (日)

[毎週火曜日休館]

開館時間：午前 9 時半 ~ 午後 6 時 (入館は午後 5 時半まで)

会 場：米子市立山陰歴史館 第 1 展示室

観 覧 料：一般 5 0 0 (4 0 0) 円、高校・大学生 3 0 0 (2 0 0) 円

※ () 内は前売券、15名以上の団体及び友の会会員料金。

※ 70歳以上の方、中学生以下の方、障がいのある方、要介護者とその介護者は無料。

主 催：米子市、米子市教育委員会、(財)米子市教育文化事業団 [米子市立山陰歴史館]

協 力：南部町 祐生出合いの館

●お問合せ先：米子市立山陰歴史館 〒683-0822 鳥取県米子市中町 20 番地 (0859) 22-7161

桃と端午の節句 — 健やかな成長を願う —

素鳳コレクションは、故坂口真佐子氏(1908～1997)が半生をかけて蒐集したもので、雛人形、衣裳人形、御所人形などの日本人形をはじめ、染色品(絵絣・更紗)や装飾具(櫛・簪・笄)など約2,000点で構成されています。「素鳳」とは、坂口真佐子氏の書道塾水草会での師・岩崎素山氏から贈られた名前に由来します。

平成12(2000)年には、コレクションのうち代表的なものが、米子市に寄贈され、当館において保存活用しています。

本展では、明治から大正期の武者人形を中心に、子どもたちの健やかな成長を願い、受け継がれてきた様々な人形の世界を紹介いたします。

会期：3月30日(土)～6月9日(日) [毎週火曜日休館]

開館時間：午前9時半～午後6時(入館は午後5時半まで)

会場：米子市立山陰歴史館 第1展示室

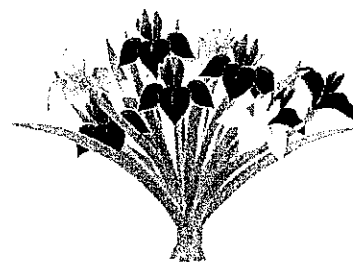
観覧料：一般500(400)円、高校・大学生300(200)円

※()内は前売券、15名以上の団体及び友の会会員料金。

※70歳以上の方、中学生以下の方、障がいのある方、要介護者とその介護者は無料。

主催：米子市、米子市教育委員会、(財)米子市教育文化事業団 [米子市立山陰歴史館]

協力：南部町 祐生出会いの館



在りし日の素鳳館



神宮皇后



武内宿禰(応神天皇抱)

〒683-0822

鳥取県米子市中町20番地

TEL(0859)22-7161

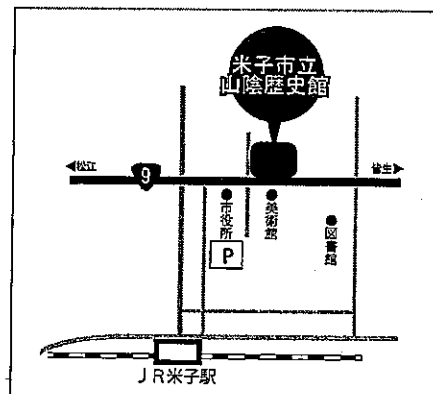
FAX(0859)22-7160

米子市立山陰歴史館

HP: <http://www.yonagobunka.net/rekishi/>

交通アクセス

- JR米子駅より徒歩20分
米子駅前バスターミナルから各方面行のバス
(※松江線を除きます)「米子市役所前」下車すぐ
- 米子空港よりタクシー約20分
- 山陰道米子南ICより市街地方面へ約10分
※米子市役所駐車場をご利用ください。
駐車券を受付へ提示していただきますと、
2時間まで無料になります。



米子市埋蔵文化財センター 米子市福市考古資料館

平成24年度事業実施報告書



2013・3

米子市埋蔵文化財センター
米子市福市考古資料館

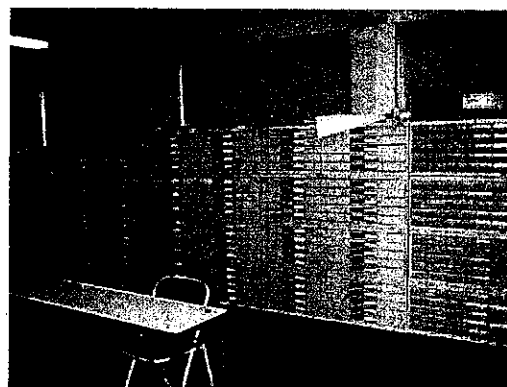
米子市福市考古資料館の概要

1 米子市埋蔵文化財センター施設概要

- (1) 名 称 「米子市埋蔵文化財センター」
- (2) 設置目的 埋蔵文化財保護と活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深め、市民の文化的向上に資するため設置する。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市281番地
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造3階建(旧日新小学校改装) 延床面積2,720㎡
展示室1室・資料閲覧室1室・書庫1室・木器保存処理室1室・写場1室・調査研究室1室・資料整理室2室・土器洗浄室1室・木器収蔵室2室・体験学習室1室・研修室1室・調査資料保管室1室・特別収蔵室1室・出土品収蔵室10室
- (5) 設置年月日 平成22年4月15日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時 開館日 月曜日～金曜日
開館時間 午前9時～午後5時
閉館日 土、日、祝日及び年末年始の休日



研 修 室



調査資料保管室

2 米子市福市考古資料館施設概要

- (1) 名 称 「米子市福市考古資料館」
- (2) 設置目的 郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため設置。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市461番地-20
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造1階建
延床面積150㎡
展示室1室・研修室1室・事務室1室
外倉庫1室
- (5) 設置年月日 昭和55年10月6日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時間
開館日 水曜日～月曜日
開館時間 午前9時30分～午後5時
閉館日 火、祝日の翌日及び年末年始の休日



米子市福市考古資料館

3 管理組織

(1) 指定管理者 財団法人米子市教育文化事業団

(2) 職員配置

米子市埋蔵文化財センター

館長 1名 学芸員 1名 (施設内の財団法人米子市教育文化事業団埋蔵文化財調査室職員 5名 事務員 1名が兼務)

米子市福市考古資料館

館長 1名(兼務) 学芸員 1名(兼務) 受付管理 2名

在職者名簿

米子市埋蔵文化財センター		米子市福市考古資料館	
館長	小原貴樹 (非常勤)	館長	小原貴樹 (非常勤)
学芸員	佐伯純也 (調査員兼務)	学芸員	高橋浩樹 (調査員兼務)
学芸補助	平木裕子 (調査員兼務)	受付・管理	遠藤 稔 (臨時職員)
学芸補助	濱野浩美 (調査員兼務)	受付・管理	門脇 威 (臨時職員)
学芸補助	影山和雄 (調査員兼務)		
事務補助	田中昌子 (非常勤)		

4 平成 24 年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館 事業計画

(1) 基本方針

- ① 埋蔵文化財センターとして基本になる機能の充実に努める。
- ② 市民が利用しやすい福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理に努める。
- ③ 立地環境を活かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理に努める。
- ④ 情報の発信と施設間ネットワーク化の推進に努める。

(2) 重点施策

①原始・古代史を学ぶ機会の提供

ア 米子城跡の企画展を企画・開催し、関連した資料の展示を行い、ガイドツアー・体験教室・考古学講座などによって米子城跡への関心を高める。

イ 常設展・企画展を開催し、米子市等の考古資料を展示するとともに、見学ツアー等の実施により原始・古代への関心を高める。

ウ 体験教室・出前講座をとおして、「触れて」「作って」古代への興味・関心を高める。

②埋蔵文化財資料の整理・保管研究

米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な収蔵保管を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるように努める。

③情報の発信

発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市の古代史の最新情報を発信する。

④連携事業の促進

より多くの人に興味・関心を持ってもらうために、事業団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業を展開する。

(4) 主要自主事業

	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示 「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	米子の原始古代遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、原始・古代の姿の理解を深める。	通年
	企画展示 「発掘調査速報展」 (福市考古資料館)	最近、発掘調査された遺跡について、その出土品や写真を展示し、遺跡調査成果を速報する。	年1回 7～8月
	常設展示 「米子の遺跡と発掘調査」 (埋蔵文化財センター)	遺跡や出土品を通して、米子の遺跡や発掘調査の理解を深める。	通年
	企画展示 「発掘が語る米子城展」 (センター・歴史館共催)	発掘調査で解ってきた米子城と武家屋敷跡の様子を解説、展示する。	年1回 9～10月 歴史館で開催
教 育 普 及	米子城跡 ガイドツアー	史跡米子城跡と城下町を現地ガイドしながら見学をする。米子城跡・城下町(内町・寺町、祇園町、博労町・勝田町方面)	年5回(春～秋) 現地探訪
	考古学講座 「米子城発掘物語Ⅰ」	米子城の様子を発掘調査の成果資料をもとに学習する	年1回 歴史館で開催
	考古学講座 「米子城発掘物語Ⅱ」	米子城跡の発掘出土品の陶磁器や瓦を実物で時期や種別を学習する。	年1回 歴史館で開催
	発掘調査見学ツアー	発掘調査中の遺跡を調査員の説明を受け、生の遺跡調査の状況を見学する。	年1回 調査時
	勾玉・石包丁・土笛づくり (福市考古資料館)	勾玉づくり等を希望する団体や考古資料館来館者に体験学習をしてもらう。	随時
調査研究	資料の調査・研究、 整理・点検	収蔵資料や、寄贈された考古資料を調査・研究、整理・点検し成果をまとめる。	通年
情 報 発 信	「埋蔵文化財センターたより」の発刊	発掘調査情報、収蔵品紹介やセンター・資料館行事等の情報提供を行う。	年4回
	施設情報の提供	事業団ネットでの行事等の施設情報の提供を行う。	通年
連 携 事 業	事業団施設体験ツアー	事業団管理施設の解説と特色のある事業体験を夏休みに行う。	7月

II 平成24年度実施事業の概要

1 展示業務

(1) 埋蔵文化財センター常設展示

内 容 テーマ「米子の遺跡と発掘調査」

期 間 平成24年4月1日～通年

担当者 佐伯純也 観覧者(1,476人)

(2) 福市考古資料館常設展示

内 容 テーマ「米子の原始・古代」

期 間 平成24年4月1日～通年

担当者 高橋浩樹 観覧者(352人)

(3) 福市考古資料館企画展示

内 容 テーマ「発掘調査速報展」

最近の発掘成果の展示を行った。

期 間 平成24年7月25日～8月27日

担当者 佐伯純也 観覧者(183人)

(4) 埋文センター・歴史館連携展示

内 容 テーマ「江戸時代の人々の暮らし」

武家屋敷の暮らしコーナーに発掘調査成果の資料を展示。

期 間 9月29日～11月25日

担当者 佐伯純也 観覧者(1,522人)

2 普及業務

(1) 史跡米子城跡ガイドツアー

内 容 史跡米子城跡の現地を解説しながらガイドした。

実施日 5月13日(日) 参加者(15人)

担当者 小原貴樹

(2) 米子城跡城下町ガイドツアー

内 容 米子城跡の城下町を解説しながらガイドした。

①第1回 祇園町方面

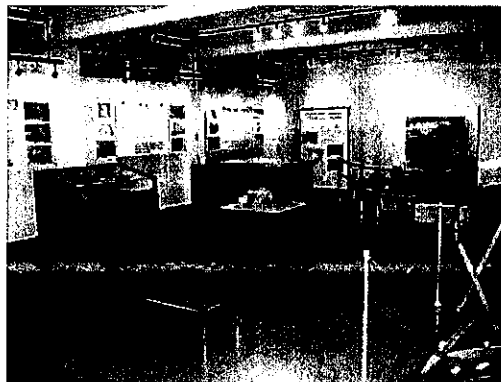
実施日6月17日(日) 参加者(25人)

担当者 濱野浩美

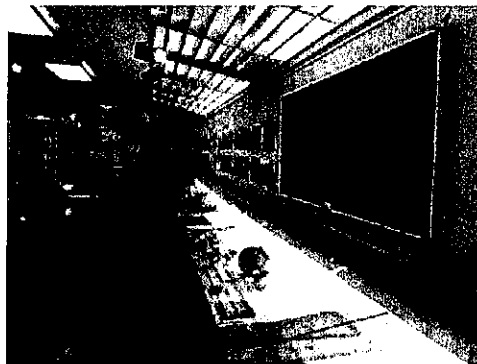
①第2回 内町・寺町方面

実施日9月9日(日) 参加者(43人)

担当者 平木裕子



埋蔵文化財センター展示室



福市考古資料館企画展示



史跡米子城跡ガイドツアー



城下町ガイドツアー第1回

①第3回 博労町・勝田町方面

実施日 11月11日(日) 参加者(28人)
担当者 高橋浩樹

(3) 考古学講座

①内 容 テーマ「米子城発掘物語Ⅰ」

米子城跡の発掘調査の成果を解説する講座を実施。

場 所 市役所旧庁舎 603 会議室

実施日 9月30日(日) 参加者(34人)

担当者 佐伯純也

②内 容 テーマ「米子城発掘物語Ⅱ」

米子城跡の発掘出土品の時期や種別を学習する講座を実施した。

場 所 山陰歴史館 会議室

実施日 10月20日(土) 参加者(24人)

担当者 佐伯純也

(4) ワークショップ

①内 容 テーマ「ススコゲワークショップ」

土器に付着したススコゲから古代の炊飯法を復元研究するワークショップ。

場 所 埋蔵文化財センター

実施日 8月4日ほか3日間 参加者(42人)

講師 北陸学院大 小林教授

担当者 濱野浩美・佐伯純也

(5) 発掘調査見学会

内 容 発掘調査中の境内海道西遺跡の現地説明会として実施した。

場 所 南部町境 境内海道西遺跡の現地。

実施日 1月20日 参加者(70人)

担当者 濱野浩美・平木裕子

(6) 古代体験学習

内 容 事業団連携事業夏休みこどもワクワク体験ツアーで発掘体験を小学4、5年生を対象にして実施した。

場 所 境内海道西遺跡

実施日 7月27日(金) 参加者(23人)

担当者 平木裕子・濱野浩美



城下町ガイドツアー第2回



米子城発掘物語Ⅱ



発掘調査見学会



夏休みこどもワクワク発掘体験

(8) 出前講座

内 容 勾玉づくり・火起こし・弓矢体験を
なかよし学級などへ出前講座した。

① 五千石小学校学年行事

場 所 五千石小学校

実施日 7月8日(日) 参加者(53人)

担当者 下高瑞哉 福田基樹

門脇 威 小原貴樹



五千石小学校学年行事

② 福生東小学校なかよし学級

実施日 7月24日(火) 参加者(40人)

担当者 下高瑞哉 福田基樹(米子市教委)

門脇 威 小原貴樹



福生東小学校なかよし学級

③ 明道小学校なかよし学級

実施日 8月1日(水) 参加者(34人)

担当者 下高瑞哉 福田基樹(米子市教委)

遠藤 稔 小原貴樹



明道小学校なかよし学級

④ 尚徳小学校なかよし学級

実施日 8月10日(金) 参加者(32人)

担当者 下高瑞哉 福田基樹(米子市教委)

門脇 威 小原貴樹

⑤ 講師派遣

場 所 福生東公民館大学講座

テーマ「発掘された米子の歴史」

実施日 11月27日(火) 参加者(45人)

担当者 小原貴樹

3 情報発信業務

(1) 埋蔵文化財センターたよりの発刊

発掘調査の情報や米子の遺跡紹介、代表的な遺跡・遺物の紹介を年4回の発行を行った。(第5号～8号)

(2) 埋蔵文化財センター・福市考古資料館ホームページ

施設情報や行事情報、米子市とその周辺の遺跡紹介をインターネットホームページに掲載し情報発信した。

4 調査研究・整理・収蔵保管業務

(1) 調査研究

調査研究は歴史館や研究団体等から持ち来られた資料について、その出所や性格等について調査を実施した。

(2) 整理作業

米子市から受託した緊急雇用創出事業「埋蔵文化財資料整理活用事業」で文化財資料の整理を実施した。雇用者は年間で延べ 名。

①遺物の整理及び収納保管

山陰歴史館保管考古遺物や旧淀江町プレハブ保管などの遺物を整理し収納保管した。

②図面の整理

旧淀江町発掘調査図面の整理・点検を行い遺跡毎にファイルに収納し、図面番号を付して図面目録を作成した。

③写真記録のデジタル化

旧淀江町発掘調査の写真類（スライド・白黒ネガ・カラーネガ）をデジタルデータ化するとともに、CDに焼付け一覧台帳ファイルを作成した。

④図書整理保管

送付や寄贈された報告書や図書について台帳を作成し、図書室並びに研修室に整理保管した。

⑤調査研究報告の発刊

市史編纂資料を整理し活用のために、研究報告Ⅰ～Ⅲを発刊した。

5 センター利用実績

(1) 施設見学

米子人生大学悠々会が施設見学で来訪された。

11月29日（木） 見学者（ 8人）

(2) 施設利用

①学校連携

尚徳小学校3年生の古代学習を受け入れ、原始古代の遺物に直接触れ、また福市遺跡の現地学習を実施した。

実施日 5月29日（火）児童ほか（51人） 6月14日（木）児童ほか（46人）

担当者 下高瑞哉 門脇威 遠藤稔

② 研究会・講座利用

研修室が研究会会場や講座会場として利用された。（山陰近世考古学研究会、山陰中世土器検討会、木器研究会などが開催された）

③ 設備利用

写場を出土品撮影場所として貸出利用した。（財鳥取県教育文化財団、むきばんだ史跡公園等）

④ 職場体験

県立米子高校2名、米子南商業高校生徒2名のインターシップで、埋蔵文化財の



旧淀江町プレハブ保管品搬入

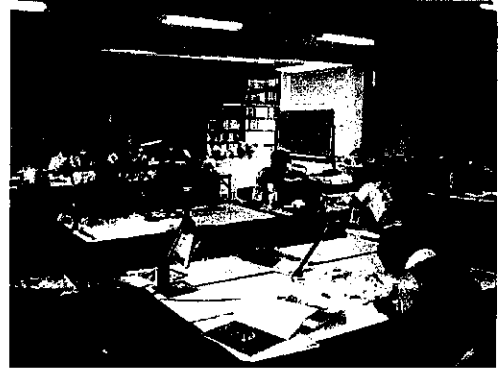


尚徳小学校3年生の古代学習

整理作業を職場体験として受け入れた。

(3) 資料利用 (別紙一覧)

- ①収蔵品の貸出利用
- ②収蔵品実見・熟覧等の研究利用
- ③写真等資料の貸出利用
- ④図書の開覧・貸出利用



島大・鳥大資料調査

平成24年度のあゆみ (業務日誌抄録)

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|--------|--------------------------------|
| 4月15日 | 愛知県埋文センターの石黒氏が来館。 | 9月26日 | 東北芸工大北野准教授が切子玉調査来館された。 |
| 4月29日 | 福市遺跡公園でつつじ祭りが開催された。 | 9月30日 | 講座・米子城発掘物語Ⅰを開催した。 |
| 5月3日 | 島根県幡中氏が縄文土器調査で来館。 | 10月16日 | 米子高校生徒がインターシップに従事。 |
| 5月13日 | 「米子城跡ガイドツアー」を実施。 | 10月20日 | 講座・米子城発掘物語Ⅱを実施。 |
| 5月27日 | 東西町五月祭へ境矢石遺跡出土品貸出。 | 10月22日 | 米子南商業高校生徒がインターシップに従事。 |
| 5月29日 | 尚徳小学校3年生が古代学習で来館。 | 10月24日 | 島大生が卒論研究で資料調査に来館。 |
| 6月12日 | 元興寺文化財研究所の狭川氏、山形県博の山口氏が塔婆資料調査で来館。 | 11月4日 | 信金ウォークが福市遺跡を目指して行われた。 |
| 6月14日 | 尚徳小3年生が福市で体験学習を行った。 | 11月11日 | 米子城下町ガイドツアー第3回を開催。 |
| 6月17日 | 「米子城下町ガイド・第1回」を実施。 | 11月16日 | 阪大院生が北山古墳資料調査で来館。 |
| 6月18日 | 北陸学院大小林教授がススコゲで来館。 | 11月27日 | 出前講座「発掘された米子の歴史」を福生東公民館で行った。 |
| 7月4日 | 広大大学院生が素文鏡研究で来館。 | 12月15日 | 小林教授、外山市がススコゲで来館。 |
| 7月8日 | 五千石小学年行事で勾玉づくり出前講座。 | 12月21日 | 鳥取県博企画展「鳥取発掘クロニクル」へ福市遺跡遺物ほか貸出。 |
| 7月23日 | 施設連携事業で上淀廃寺の案内解説。 | 1月20日 | 境内海道西遺跡で見地説明会開催。 |
| 7月24日 | 福生東小なかよし学級へ勾玉づくり出前。 | 1月30日 | 歴史館の考古展示室遺物が返却された。 |
| 7月25日 | 福市考古資料館企画展「発掘調査速報展」 | 2月9日 | 第12回山陰中世土器検討会が開催。 |
| 7月27日 | 事業団連携事業ワクワク発掘体験実施。 | 2月17日 | 鳥取県博「鳥取発掘クロニクル」連続講座へ濱野主任が講演 |
| 8月1日 | 明道小なかよし学級へ勾玉づくり出前講。 | 3月16日 | 第34回木器研究会がセンターで開催 |
| 8月4日 | 「スス・コゲワークショップ」を開催。 | | |
| 8月10日 | 尚徳小なかよし学級勾玉づくり出前講 | | |
| 8月20日 | 島大・鳥大合同調査団が古墳資料調査30日まで来館調査。 | | |
| 8月30日 | 韓国国立扶余文化財研究所所員2名の視察があった。 | | |
| 9月8日 | 第3回山陰近世考古学研究会が開催。 | | |
| 9月9日 | 米子城下町ガイドツアー第2回を実施。 | | |

平成24年度米子市埋蔵文化財センター・福市考古資料館利用実績一覧

2013年3月18日 現在

事業名	日時	人数	件数	内 容
福市資料館常設展	通年	1476	1	米子の原始古代遺跡の展示
福市資料館企画展	7/25～8/27	183	1	発掘速報展・境矢石遺跡ほか
埋蔵文化財センター常設展	通年	352	1	米子の遺跡と発掘調査
「発掘が語る米子城展」	9/29～11/25	(1522)	1	歴史館開催・共催埋文センター・
米子城跡ガイドツアー	5/1	15	1	米子城跡現地ガイド
城下町ガイドツアー	6/17・9/9 ほか	96	3	城下町現地ガイド
考古学講座Ⅰ・Ⅱ	9/30・	58	2	米子城跡調査と発掘品の解説
発掘調査見学ツアー	1/20	70	1	発掘調査現地説明会
ワークショップ	8/4・5	42	3	土器付着ススゴゲワークショップ
出前講座(勾玉づくり)	7/8・8/1 ほか	159	4	尚徳なかよし学級
出前講座(講演会講師)	7/22・	45	1	福生東公民館
施設見学	11/29	8	1	人生大学友の会
学校連携古代学習	5/29・6/24	97	2	尚徳小3年生
古代体験学習(連携事業)	7/27	23	1	事業団夏休みワクワク発掘体験
研究会利用	5/14 ほか	91	3	近世考古学研究会・中世土器研ほか
設備利用	11/12・1/25	13	2	県財団ほか
職場体験	10/16・10/22	4	2	高校生インターシップ
学習利用	8/20～8/30	471	2	鳥大・島大調査団ほか
出土品貸出利用	9/27 ほか		12	むきばんだ史跡公園・県埋文センター
出土品実見等研究利用	4/15 ほか	23	23	学生卒論、大学研究ほか
写真資料等貸出利用	1/23 ほか		3	遺跡写真データ
図書閲覧	4/20 ほか	14	14	40冊
図書貸出	5/1	1	1	50冊
計		3241 (1522)		

平成25年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館 事業計画（案）

1 基本方針

- (1) 埋蔵文化財センターとして基本になる機能の充実
- (2) 利用しやすい福市資料館と埋蔵文化財センターの管理
- (3) 環境を生かした福市資料館と埋蔵文化財センターの管理
- (4) 情報発信とネットワーク化の推進

2 重点施策

(1) 原始・古代史を学ぶ機会の提供

- ① 常設展・企画展を企画・開催し、米子市等の考古資料を展示し、また講座の実施によって原始・古代への関心を高める。
- ② 市内の遺跡のガイドウォークの実施によって遺跡への関心を高める。
- ③ 体験教室・出前講座をとおして、「見て」「触れて」「作って」古代への興味・関心を高める。

(2) 埋蔵文化財資料の整理・保管研究

米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な整理・保管を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるように努める。

(3) 情報の発信

発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代史の最新情報を発信する。

(4) 連携事業の促進

より多くの人に興味・関心を持ってもらうために、当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業を展開する。

3 主要事業

	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示 「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	米子の原始・古代の遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、原始・古代の姿の理解を深める。	通年
	常設展示 「米子の遺跡と発掘調査」 (埋蔵文化財センター)	遺跡や出土品を通して、米子の遺跡や発掘調査への理解を深める。	通年
	企画展示 「南部バイパスの遺跡」 (福市考古資料館)	南部バイパス関係の発掘調査成果を展示する。	年1回 9～10月
	出前企画展 「未定」 (埋蔵文化財センター)	上淀白鳳の丘展示館で出前展示を行う。 共催：白鳳の丘展示館	年数回
教 育 普 及	福市・青木遺跡ガイドウォーク (埋蔵文化財センター)	史跡福市・青木遺跡をスライドや遺物で学習した後、現地をガイドしながら見学する。	年1回 5月
	米子城跡ガイドウォーク (埋蔵文化財センター)	米子城の解説と現地のガイドを行う。	年1回 7月
	市内遺跡探訪ウォーク (埋蔵文化財センター)	市内の遺跡の現地のガイドを行う。	年1回 9月
	石造物探訪ウォーク (埋蔵文化財センター)	市内の石造物の現地ガイドを行う。	年1回 11月
	考古学講座「発掘が語る米子」 (埋蔵文化財センター)	各時代の遺跡の発掘成果を解説する講座を行う。	年3回 (6、8、10月)

教 育 普 及	講座「出土品学習教室」 (埋蔵文化財センター)	発掘出土品の分類学習や、種別・時期などの判別の基礎を学習する。	年1回 12月
	発掘調査見学ツアー (埋蔵文化財センター)	発掘調査中の遺跡を調査員の説明を受け、生の遺跡調査の状況を見学する。	年1回 調査時
	勾玉・石包丁・土笛づくり (福市考古資料館)	勾玉づくり等を希望する来館者に、体験学習をしてもらう。また、希望の学校等へも出かけて行う。	随時
	出前講座・学習受け入れ (埋蔵文化財センター)	希望の学校・公民館へ、実物の出土品を持参し、原始古代について解説を行う。またセンターで受け入れて行う。	随時
調 査 研 究	資料の調査・研究、整理、点検 (埋蔵文化財センター)	収蔵されている資料や、寄贈された考古資料を調査・研究、整理・点検し成果をまとめる。	通年
情 報 発 信	「埋蔵文化財センターたより」 の発刊	発掘調査の情報、貴重な収蔵品の紹介やセンターと資料館行事等の情報提供を行う。	年4～6回
	施設情報の提供	当財団のネットでの行事等の施設情報の提供を行う。	通年
連 携 事 業	財団施設体験ツアー	事業団管理施設の解説と特色のある事業体験を行う。	年1回 7月

様式第6号(第1条関係)

米子市埋蔵文化財センター、福百考古資料館の管理業務に関する収支予算書 (平成25年度)			
収入(千円)		支出(千円)	
項目	金額	項目	金額
指定管理料	6,481	人件費	3,013
事業収入	39	館長(1人)	
講座授業料等		学芸員(1人)	
		受付・学芸補助	
雑収入	40	施設管理費	2,807
図書売捌等		通信運搬費	265
		消耗品費	71
		修繕費	60
		燃料費	42
		光熱水料費	958
		電気代	792
		ガス代	18
		水道代	148
		賃借料	100
		保険料	6
		租税公課	172
		委託費	1,113
		賃料費	282
		清掃費(契約ワークス)	39
		消防設備保守点検	115
		浄化槽清掃保守	458
		給水設備維持	128
		水道定款検査	15
		案内板等制作委託	39
		事業費	375
		旅費交通費	20
		消耗品費	87
		印刷製本費	90
		諸謝金	8
		委託費	130
		負担金	40
		事務局経費	305
		事務局調整金	60
合計	6,560	合計	6,560

平成 24 年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業報告書

(平成 25 年 3 月 10 日現在)

1 組織体制

館長(非常勤)	1 人	
副館長(常勤)	1 人	
学芸員兼企画員(常勤)	1 人	
スタッフ(非常勤)	2 人	合計 5 人

2 事業の実施状況

(1) 入館者数等

区分	一般	高・大学生	中学生以下	合計
人数	6,065 人	69 人	484 人	6,618 人

(2) 自主事業

事業名	実施状況	実施時期
よどえ古代まつり	上淀白鳳の丘展示館 1 周年記念事業として、米子市・ゆめ温泉、どんぐり館、伯耆古代の丘公園などと共に、この地域の新たな魅力を引き出していくための地域イベントを実施した。 (展示館入館者=215 人)	5 月
妻木晩田遺跡連携事業	妻木晩田遺跡連携事業として、春の新緑祭と秋の秋麗祭・古代ロマンウォークにあわせて展示館の入館サービスや館内ガイドを行うとともに妻木・晩田遺跡公園と連携した広報活動の強化に取り組みました。 (展示館入館者=181 人)	5 月 9 月
上淀白鳳の丘展示館ミニ企画展	「壁面から見た時代の変化」をテーマにしたミニ企画展を 7 月から 8 月の夏休み期間中に上淀白鳳の丘展示館のロビーで開催した。 (期間中の展示館入館者=716 人)	7～8 月
伯耆古代の丘情報発信事業	ホームページの上淀白鳳の丘展示館の内容を充実させたほか、市町村共済広報誌や大手民間企業の特集記事の掲載など様々な機会を捉えて情報発信事業を実施しました。特に、今年度は初めて県と市で共同してこのエリアの情報を全国発信するためのパンフレット(別添)を作成し、広報の充実を図ることができました。	随時
周辺史跡ガイドの実施	入館者及びこのエリアへの来訪者の要望に応じ、周辺史跡(向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡)のガイドを積極的に行った。 (周辺史跡案内=61 回 484 人)	随時
上淀廃寺マンガパネル展	上淀廃寺の魅力と謎をテーマにした上淀廃寺マンガパネル展(チラシ添付)を米子コンベンションセンター、日吉津イオンモール、とりぎん文化ホール(鳥取市)などで実施した。	24 年 5 月 ～25 年 3 月
史跡ガイドの養成講座の実施	史跡ガイドの養成講座の一環として、公民館をはじめ市内の民間団体の会合などに出向き、上淀廃寺歴史講座を 5 回実施しました。 (受講者数=約 150 人)	随時

平成 25 年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業計画

1 組織体制

館長（非常勤）	1 人	
副館長（常勤）	1 人	
学芸員兼企画員（常勤）	1 人	
スタッフ（非常勤）	2 人	合計 5人

2 事業計画

(1) 基本方針

指定管理業務の3年目になり、これまでの実績等を踏まえ、引き続き施設の円滑な管理運営を図るとともに、ソフト事業の積極的な実施及び広報活動の充実に重点をおいた事業展開を目指すこととします。

(2) 自主事業

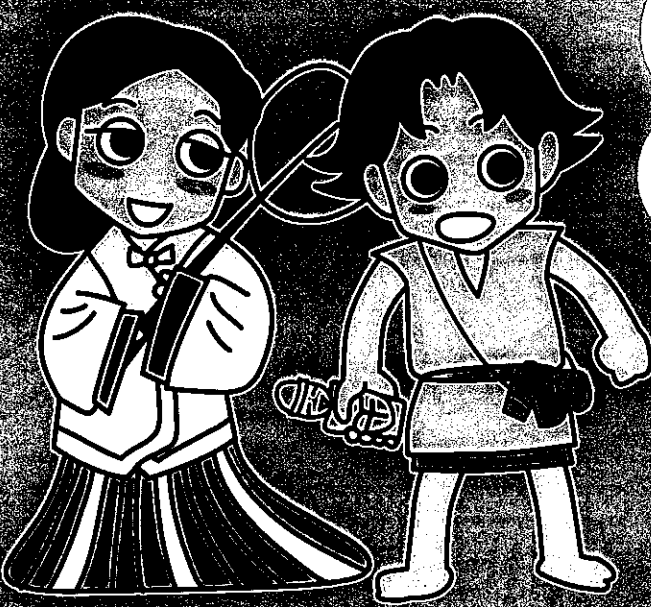
事業名	目的・内容	実施時期
よどえ古代まつり	上淀白鳳の丘展示館2周年記念事業として、米子市・ゆめ温泉、どんぐり館、伯耆古代の丘公園などと共に、この地域の新たな魅力を引き出していくための地域イベントを実施します。	7月予定
妻木晩田遺跡連携事業	妻木晩田遺跡連携事業として、秋の秋麗祭・古代ロマンウォークにあわせて展示館の入館サービスや館内ガイドを行います。特に、今年度は、妻木・晩田遺跡公園や淀江支所、文化課と合同で実施する「とつとりの文化遺産魅力発掘シンポジウム」に全力をあげて取り組むこととします。	7～10月
上淀白鳳の丘展示館ミニ企画展	上淀白鳳の丘展示館のロビーで国史跡上淀廃寺跡に係るミニ企画展を実施します。	年2回
伯耆古代の丘情報発信事業	広報活動の充実を図るために、新しい展示館パンフレットの作成をはじめ様々な機会をとらえて旅行関連雑誌等への記事掲載や情報提供に努めます。	随時
館内及び周辺史跡ガイド	前年度に引き続き、入館者及びこのエリアへの来訪者の要望に応じ、展示館ガイドに合わせて周辺史跡（向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡）のガイドを積極的に行います。	随時
展示館歴史講座	ガイド養成の一環として上淀廃寺をテーマにした歴史講座を実施し、国史跡 上淀廃寺跡への理解を深めるとともに、その魅力の広報に努めます。また、積極的な出前講座を提案し市内の公民館などでの講座の実施に努めます。	随時
淀江エリア魅力アップ事業	上記に掲げる事業のほか、上淀廃寺などの史跡を活用して、史跡関連施設や周辺観光施設との連携し史跡・名所探訪ウォーク等を実施して、淀江エリアの魅力アップを図るための事業を実施します。	随時



ハクホとヨエダの マンガパネル展



Go! Go! KAMIYODO-HAIJI GIALS 上淀廃寺ガールズ



上淀廃寺の魅力を謎に迫ります。
Go! Go! Kamiyodo-Haiji Gialsの
キャラクターをベースに
上淀廃寺の魅力を謎に迫ります。

主催：上淀白鳳の丘展示館
〈指定管理者(株)白鳳〉

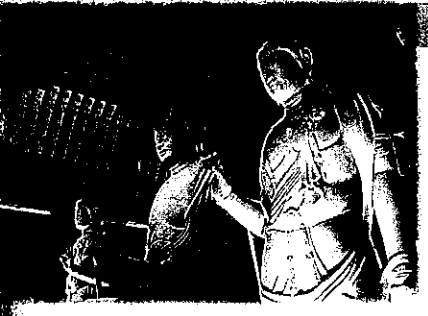
国史跡 上淀廃寺跡

米子市淀江町の上淀の地に建てられていた古代寺院で、平成3年に国内最古級の仏教壁画が発見され、全国的に有名になりました。平成8年に国史跡に指定され、現在では発掘当時の様子が復元されています。



上淀白鳳の丘展示館

上淀廃寺跡から発見された壁画や仏像片の実物展示をはじめ古代寺院の金堂(仏像を安置する建物)の内部を原寸大で復元した、国内唯一の展示館です。



上淀白鳳の丘展示館

鳥取県米子市淀江町福岡 977-2 TEL・Fax 0859-56-2271
http://www.hakuhou.jp Email tenjikan@hakuhou.jp
開館時間：9:30～18:00(入館は、17:30まで)
休館日：毎週火曜日(祝日を除く)・年末年始
入館料：一般 300円、高大学生 150円(団体は1人につき50円引き)

